

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第60号

令和8年1月30日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言

患者さんの「その人らしさ」を守りたい -がん看護の原点に立ち返る-

看護局長 山田 みつぎ



看護の原点とは何か——。がん看護に携わる日々、その問いは私の中で決して色あせることはありません。がん患者さんが抱える苦痛や不安は、病状だけでは語り尽くせない複雑さを持っています。治療の選択、生活の再構築、そして人生の最終段階における揺れ動く思い。その一つ一つに寄り添う看護とは、常に“人の尊厳”と向き合う営みであり、そこには私たちの倫理観が揺さぶられる場面が多くあります。

私のがん看護専門看護師として関わってきた中で、今も胸に深く残る患者さんがいます。治療のたびに「大丈夫です」と笑顔を見せてくださっていた方でしたが、亡くなる数日前、静かな声でこうお話しされました。「本当は……治療を続けるより、家で家族と過ごす時間が大切だったの」。その言葉は、長く胸の奥にしまっていた思いがふとこぼれた瞬間でした。私たちは最善を尽くしてきたつもりでしたが、本当にこの方の“望んだ生き方”に寄り添いきれていたのか、その問いが胸に突き刺さりました。短い言葉でしたが、その願いは看護の本質を私たちに強く問い直すものでした。私はその時、患者さんが望む生き方・過ごし方は一人ひとり異なり、どの選択も尊く正しいのだと改めて強く感じました。そして、患者さんが安心して思いを語れる環境をつくることこそ、がん看護の根幹だと改めて教えていただいたように思います。

患者さんの「本音」は、必ずしも言葉として表に出てくるとは限りません。一方で医療者としての「建て前」は、組織の使命を果たすため避けられない局面もあります。時にその狭間で、私たちは迷い、戸惑い、自問自答を繰り返します。看護師一人ひとりが苦しみながらも誠実に最善を選ぼうとする姿こそ、看護の原点そのものです。あの患者さんの本音に触れたことで、看護が向き合うべき“人の願い”“その人らしさ”とは何か、あらためて鮮明になりました。看護とは、病を治すだけでなく、人がその人らしく生き、そして最期を迎えるまでのプロセスを支える営みなのだ。

看護局長として日々の意思決定を行う中で、私自身も例外ではなく、毎日が正解のない判断の連続です。判断が正しかったのか、もっとできることはなかったのか、そう自分を責める瞬間は決して少なくありません。「自分が局長で申し訳ない」と感じるほどの無力感に押しつぶされそうになる瞬間もあります。しかし同時に、自分の弱さを認め、患者さんと職員の声に耳を傾け続けることが、私の務めであり、組織を前へ進める力になると信じています。

がん看護は高度な知識と技術を要する専門領域ですが、その根底には「その人らしさを守りたい」という普遍的な思いがあります。私たちはその思いを共有し、迷いながらも共に考え、支え合えるチームであり続けたいと願っています。これからも看護の原点を胸に、患者さんご家族、そして仲間とともに歩み続けてまいります。

臨床の現場から

大腸がんに対するロボット手術について

千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 主任医長
外岡 亨

大腸がんに対するロボット手術は、従来の開腹・腹腔鏡手術に比べて精密で安全な手術が期待されており、特に技術的に難しい直腸がんにおいてその利点が発揮されます。当科では2019年6月より直腸がんへのロボット手術を開始し、2022年11月から結腸がんにも適応を拡大しています。これまでに300件を超えるロボット大腸がん手術を行っており、今後も患者さんへのメリットがさらに広がることが見込まれます（図1）。また、当院では大腸がんのほか、胃がん、前立腺がん、腎がん、膀胱がん、肺がんなど様々ながんに対してもロボット手術を積極的に行っています。

ロボット大腸がん手術は、従来の開腹・腹腔鏡手術の弱点を克服できる手術方法です。腹腔鏡手術と同様、腹腔内でカメラと鉗子を使って手術を行いますが、ロボット鉗子は術者の手の動きをリアルタイムで伝えることができ、自由度の高い操作が可能となります（図2,3）。特に体の奥深くや狭い部分でも人間の手のような複雑な動きができ、手ブレ補正も備えているため、より精密な手術が実現します。

ロボット手術の効果として、従来の方法では困難だった患者さん（骨盤が狭い方、腫瘍が大きい方、肥満の方など）にも繊細で安全な手術が可能となり、神経温存による排尿・性功能障害の軽減や肛門温存率の向上、腫瘍遺残や再発率の低下などが期待されます。

なお、腫瘍の状態や周囲臓器との関係によっては、開腹手術や腹腔鏡手術が適する場合もありますので、患者さんごとに最適な手術方法を外来受診時などにご説明いたします。ご相談やご質問があれば、遠慮なくお申し出ください。

図1

当院ロボット大腸手術件数（総数） N=304

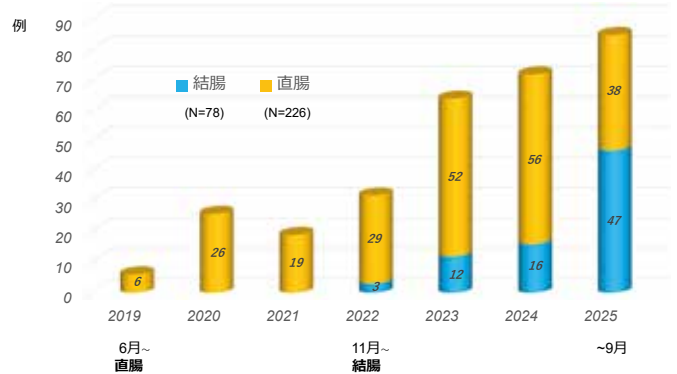


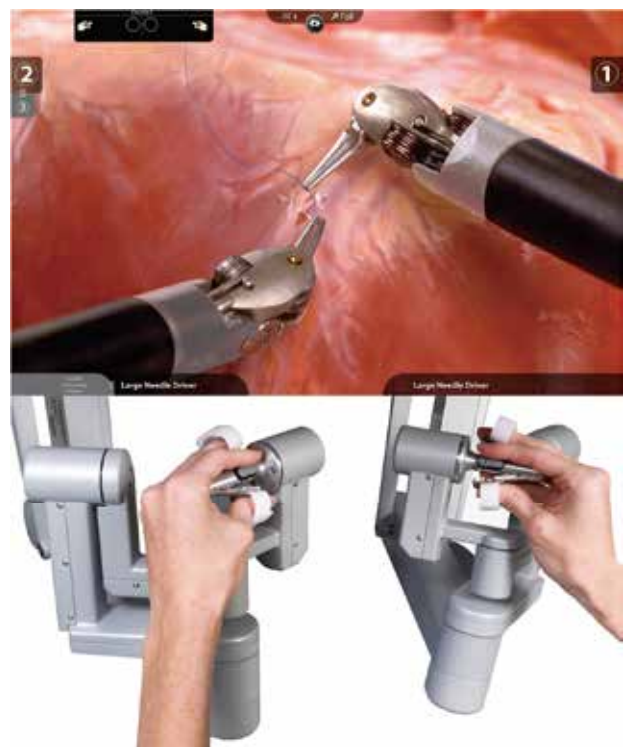
図2

ロボット手術室内の様子



図3

コンソール内の映像とコントローラ



地域連携室だより

PSMA（前立腺特異膜抗原）PET-CT 検査の提供について

核医学診療部 部長
久山 順平

日頃より、地域医療連携にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当院では、Lu-177 PSMAの導入と併せて、PSMA（前立腺特異膜抗原）PET-CT検査の提供を開始し、外部医療機関からの予約受付を開始いたします。

2025年9月に前立腺特異的膜抗原（PSMA）陽性の転移性去勢抵抗性前立腺がんに対する治療法として、核医学治療（RI内用療法）薬 Lu-177 PSMA 使用が日本で承認され、千葉県がんセンターでも2026年1月より臨床利用を開始します。

本治療の適格条件として、

- [1] PSMA陽性の転移性去勢抵抗性前立腺がんであること
- [2] アンドロゲン受容体シグナル阻害薬（ARSI）を既治療として実施していること
- [3] 適切な画像診断によって前立腺がんのPSMA陽性病変を確認すること

が必要です。（自施設での治療ベッドの有無を問わずLu-177 PSMA治療をご予定の症例であれば、検査は受けられます。）

PSMA PET-CT検査は、Lu-177 PSMA治療の適応を確認するための検査であるため、実施にあたっては上記の条件から、[1][2]のARSI治療歴のある遠隔転移陽性去勢抵抗性前立腺がんが対象となります。

PSMA PET-CT検査のご予約の際は、当院・核医学診療部のホームページをご確認いただき、検査説明書/検査予約票をダウンロードしてください。予約は、医療機関から千葉県がんセンター地域医療連携室へお電話にてお願いします。検査日時が決まりましたら、検査説明書/検査予約票に沿って患者さんへのご説明とお渡しをお願いします。

千葉県がんセンターは、今後も地域の医療機関および患者さんに寄り添った医療の提供に努めてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

予約受付：月曜日～金曜日

（土曜・日曜・祝祭日と12月29日～1月3日を除く）

医療機関からの
予約・問い合わせ

時間：午前9時～午後5時
電話：043-264-5633
ファックス：043-263-4075

PET-CT検査

PSMA PET-CT検査
火曜と木曜の14時

（参考）FDG PET-CT検査は、
月曜と水曜、金曜となります。

詳しくは「千葉県がんセンター PSMA PET」を検索して下さい。

PRO（患者報告アウトカム）

治験臨床試験推進部 部長 三梨 桂子

治験では患者さんが自ら自分の症状や体調を評価する「患者報告アウトカム（Patient Reported Outcome：PRO）」のデータを集める場合があります。近年は紙への記入ではなく電子入力「ePRO」が主流になってきており、病院へ来た時以外に、自宅で入力することも可能で、ご自身のペースで回答いただけます。このように患者さん自身が生活の質を評価することも、新薬の開発に重要となり注目されています。

治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

現在募集中の治験情報 R7/10月末時点での募集中試験数は34件

①食道がん	2件	④前立腺がん	4件	⑦リンパ腫	6件	⑩胆道がん	1件	⑬子宮体がん	1件
②胃がん	2件	⑤尿路上皮がん	1件	⑧多発性骨髄腫	2件	⑪膵臓がん	1件		
③大腸がん	4件	⑥乳がん	6件	⑨非小細胞肺がん	2件	⑫頭頸部がん	2件		

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijoukyou.html>



研究の現場から

次世代のがん治療を見据えた研究開発

研究所 精密腫瘍モデル研究室 主任上席研究員
下里 修

抗

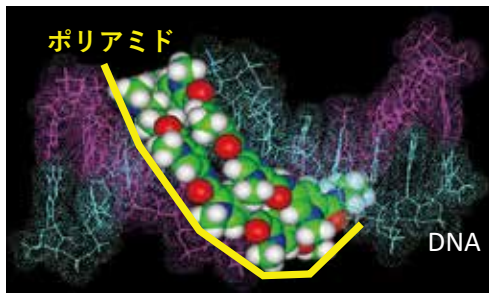
がん剤治療は長年の研究に支えられ大きく進歩してきましたが、薬剤耐性や副作用といった課題はいまま臨床現場で問題となっています。当研究所では、こうした課題を克服し、より安全で効果的ながん治療を実現するため、次世代のがん治療を見据えた基礎研究に取り組んでいます。今回は、その成果の一つとして、私たちが独自に開発した新しい抗がん作用をもつ化合物をご紹介します。

近年、盛んに用いられる分子標的薬は、がん細胞の増殖に欠かせないシグナル経路を狙う薬剤です。私たちは、新たな薬剤の標的として、がんの発生・進行に深く関わる「WNT (ウイント) 経路」に注目しました。WNT経路は細胞増殖を制御する重要な仕組みで、消化管や血液などの再生・維持に貢献しています。この

経路は大腸がんを含む様々ながんで異常に活性化することが多く、有望な治療標的として長年注目されてきました。しかし、従来の阻害化合物は正常な臓器にも強く作用し、副作用の大きい点が実用化の壁となっていました。

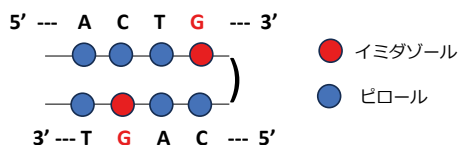
そこで私たちは、副作用を抑える鍵は「薬剤をがん組織にできるだけ集めること」だと考えました。この発想から、がん組織に集まりやすい性質を持ちつつ、異常なWNT経路に依存する大腸がんに作用する新規化合物の開発に成功しました(図参照)。毒性を抑えながら作用を発揮する点が特徴で、今後の治療応用に向けた可能性が広がっています。

今回の研究により、新たな抗がん剤候補を得ることができました。しかし実際の医療に結びつけるためには、患者さんのがん組織を用いた実験など、さらなる検証実験が不可欠です。そして、このような研究は、臨床との強固な連携がなければ実現できないことだと感じています。私たちは今後も、現場のニーズに寄り添いながら、患者さんに還元できる治療法の開発を目指してまいります。引き続き、皆さまのご理解と温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

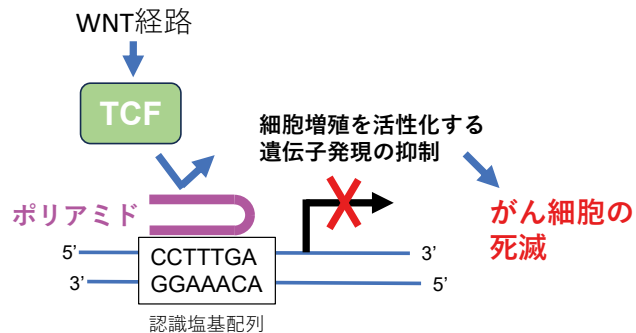


上図に示すように、ポリアミドは巻き付くようにして、青と紫で示したDNA分子に結合します。

ピロールとイミダゾールによる塩基の認識



ピロールとイミダゾールの順番を変えることで、ポリアミドは任意の塩基配列を含むDNAと選択的に結合します。



WNT経路は、TCFとよばれる転写制御因子を介してがん細胞の増殖を活性化します。

そこで、TCFが結合する特徴的な塩基配列にポリアミドを結合させると、TCFの動きが抑制され、最終的にがん細胞は死滅します。

私たちは、がん組織に選択的に集まるポリアミドの性質を以前に報告しました(Bioorg. Med Chem., 2018)。このことから、この化合物はがん組織以外での細胞増殖制御を損なわず、重篤な副反応を引き起こさなかったと考えています。

この成果は、本年11月、国際学術雑誌に掲載されました
(Cancer Science, <https://doi.org/10.1111/cas.70234>)

ご 報 告

県民公開セミナー開催のご報告

事務局 中村 飛鳥

2025年10月11日(土)13時から、「第23回 千葉県がんセンター県民公開セミナー」をペリエ千葉7階のペリエホールで開催しました。テーマは「がん治療の不安に答える - 患者さん・ご家族が抱える悩みを専門の医療職が解決-」です。

加藤病院長によるあいさつの後、医療ソーシャルワーカーの吉原恵子さんによる「がんになったときに知っておきたいこと」、続いて手術看護認定看護師の薮下美紀さんによる「安心して手術を迎えるために術前から始める合併症予防策」、診療部長で消化器内科部長の傳田忠道先生による「抗がん剤治療と遺伝子検査」、管理栄養士の前田恵理さんによる「がん患者さんの食と栄養」、最後に、緩和医療科部長の田口奈津子先生による「がんによる苦痛とその対応：緩和ケアという選択肢」の計5講演を行いました。

また、県内の患者会「支えあう会「α」(アルファ)」「京葉喉友会」「ねむの会」「オレンジ・リーフ」の皆様にご協力いただき、各患者会の紹介とブース出展を行っていただきました。さらに、今回から「がん相談コーナー」を併設し、短い時間ですが個別のご相談にお答えしました。

当日は雨天にもかかわらず約180名の方にご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

がんセンターでは、今後も毎年10月頃に県民公開セミナーを開催してまいります。現場で日々患者さんに向き合っている各医療職の貴重な講演の機会ですので、ぜひご参加いただき、がんに関する知識を深めていただけますと幸いです。



県民公開セミナー：当日のペリエホールの様子

第30回千葉県がんセンター例会の報告

診療部長 高野 英行

2025年11月15日(土)新棟大会議室にて、がんセンター例会が行われました。千葉県立病院学術集会での発表選考を兼ねるため、1.メインテーマ「未来への架け橋～県立病院の変革と挑戦～」2. シンポジウムテーマ「現場から始める業務改善」で、演題を募集し、全13題の演題の応募がありました。病院長 加藤 厚が開会の辞を述べ、例会が開始されました。第1部では、座長 大内 邦枝(診療部長) 河津 正人(研究所)の下、薬剤部、栄養科、医療の質・安全管理部、がん相談支援センター、地域医療連携室、緩和病棟および研究所の発表がありました。2部では、座長 高野 英行(診療部長) 宍倉 剛秀(看護局)の下、がん薬物療法センター、看護局 外来診療部門、入退院支援室、PFM 改善プロジェクトチーム、そして感染管理部からの発表がありました。がんセンター内での、業務改善や新しい試みが発表されました。閉会の辞は、医療局長 米本司が述べました。今回の例会には、名誉病院長の長山忠雄先生がご臨席なされ、過去から現在の例会の変化等について、講評いただきました。

現地参加者は72名、また、当日不参加の評価者には、ビデオを院内e-learningにて配信しました。



センター例会：当日の大会議室の様子



センター例会：長山名誉病院長ご講評

初診担当医表

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとりください。
*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ちください。

TEL.043-264-5431 (代表) TEL.043-264-5633 (地域医療連携室直通) FAX.043-263-4075

2025年11月1日更新

診療科	月	火	水	木	金
肝胆膵外科	岩立 陽祐	賀川 真吾	加藤 厚 石毛 文隆	柳橋 浩男	有光 秀仁
ハイパーサーミア	千葉 聡	千葉 聡	千葉 聡		千葉 聡
食道・胃腸外科	鍋谷 圭宏 (第1,3,5) 加野 将之 (第2,4) 外岡 亨	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	加野 将之 早田 浩明	鍋谷 圭宏 加野 将之 成島 一夫 桑山 直樹	加野 将之 平澤壮一郎
消化器内科	傳田 忠道 三梨 桂子 鈴木 拓人 喜多絵美里 箕輪真寿美	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 杉田 統 岡田 晃弘	三梨 桂子 中村 和貴 喜多絵美里 石垣 飛鳥 古賀 邦林	傳田 忠道 三梨 桂子 徳長 鎮 竹内 良久	須藤研太郎 中村 和貴 天沼 裕介 北川 善康 古賀 邦林
呼吸器外科	坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一
呼吸器内科	水野 里子 芦沼 宏典	新行内雅斗 芦沼 宏典		新行内雅斗 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	中村 力也 山田 英幸	羽山 晶子 山田 英幸	羽山 晶子 吉村 悟志 (第1,3,5)	羽山 晶子 山本 寛人	山田 英幸 寺中亮太郎
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	鈴鹿 清美	田中 尚武	鈴鹿 清美 碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	田中 尚武
泌尿器科	小丸 淳潤 新納 潤	米田 慧	池原 哲郎	米田 慧 鈴木 一弘	小林 将行 山崎賢太郎
腫瘍血液内科	武内 正博 真子 千華	熊谷 匡也 辻村 秀樹 三科 達三	武内 正博 辻村 秀樹 菅原 武明 依田 夏美	熊谷 匡也 真子 千華 三科 達三	武内 正博 熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦 長谷川祐三	(担当医)	堺田 司 長谷川祐三
頭頸科	(担当医)	木下 崇 福本 一郎 三田 恭義		木下 崇 福本 一郎 三田 恭義	
整形外科	米本 司 鴨田 博人 木下 英幸	鴨田 博人 萩原 洋子		米本 司	米本 司 萩原 洋子 木下 英幸
緩和医療科	坂下 美彦		坂下 美彦		
核医学診療部			久山 順平	久山 順平	

電話
予約

●初診・再診予約(患者予約)

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-263-4071

●予約変更(患者予約)

月曜日～金曜日 午後1時～午後4時

043-263-4071

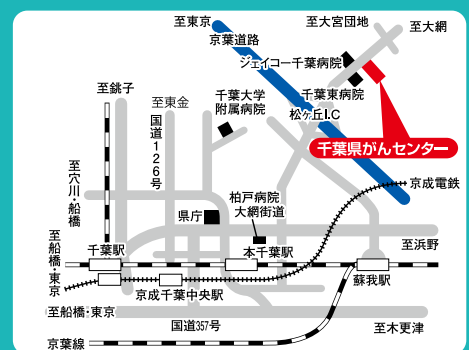
●医療機関からの直接予約

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-264-5633



- JR千葉駅から** 所要時間:約25分
 京成バス千葉イースト: 菅田駅、鎌取駅、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車
- JR鎌取駅から** 所要時間:約13分
 京成バス千葉イースト: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車
- JR蘇我駅から** 所要時間:約16分
 京成バス千葉イースト: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車
- 松ヶ丘I.Cから**
 大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター
 〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
 TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>